

開催月日 : 平成 26年 11月 25日

平成26年度第3回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議

時間	am / pm 10:00	～ am / pm 11:00	場所	グッドライフケア24会議室
司会	濱崎		書記	濱崎
出席者	文京区福祉部介護保険課 : 2名			
	あんしん相談センター富坂 主任介護支援専門員 : 藤 達也			
	富坂地区 民生委員 : 1名			
	居宅介護支援事業者 : 5名			
	訪問看護ステーション 看護師 : 1名			
	グッドライフケア24 統括・アセスメントナース : 濱崎 友子			
	グッドライフケア24 グッドライフケア訪問看護ステーション千代田管理者 : 鈴木 直美			
	グッドライフケア24 管理者・計画作成責任者 : 今口 友紀			
グッドライフケア24 居宅介護支援センター文京管理者 : 篠原 真貴				
会議内容	1. 開会挨拶			
	2. 事業者紹介			
	3. サービス提供状況報告 & 事例紹介			
	4. ご出席者皆様よりご意見、講評			
	5. 閉会の挨拶			

詳細
1. 開会挨拶
グッドライフ24統括 濱崎 友子
2. 事業者紹介
自己紹介して頂く

3. サービス提供状況報告 & 事例紹介
管理者今口より報告
事例 : ADLの維持・生活意欲の向上・コール機の必要性
4. ご出席様皆様よりご意見とご講評
Q : 豊島区でも依頼したことがあるが、デイサービスは3回までなど制限はあるのか。
A : 特に制限はないが、時間が決まってしまうため柔軟に時間対応ができなくなることもある。
: 通所に行っている利用者を何人かお願いしている。その時は相談して欲しい。
Q : 介護員の人数や採用はどのような状況ですか。
A : 基本的に常時採用をしている。1事業所定員45人と考えているためそれまでは採用を続ける。 毎月3~5名の採用ができている。
Q : 看護を増やして欲しい。
A : 対応はしているが採用がなかなか難しい。今後も継続して努力していく。
Q : 見取りを何件か行っているがスムーズに行われたのか。
A : 2件の看取りを行ったが、両者ともに在宅前にきちんとした説明の元退院してきている。 そのため、家族も理解されサービスができていた。利用者の安楽さを重要視しサービスしていた。 介入目的が明確だったので大きな混乱もなかった。
Q : 事例の養女の方の関わりはどのようになっていますか。
A : 近くに住んでいて、時々訪問して一緒に外出するなどはあるようです。 毎日関わるのは難しい状況です。
Q : コール機のみ利用は可能か。
A : コール機のみの場合、緊急時の状況の確認が難しいため基本的にはお断りしている。 週1回の訪問でいいので通常の利用者の状況を確認できる機会を頂きたい。 事例の方もはじめは介護員のこれる時間での入浴をお願いしていた。しかし、どうしても寝る目に入浴 したいとの希望が強く、コール機での確認とした。
Q : 誤報はどのような内容なのか
A : 感度がいいので少し触っただけでつながってしまうため、ベッド柵などにつけている方は寝返りした時などに 触れてしまう。 他区では知的障害の息子さんが持ち歩いて使用していたことがある。
Q : 看護の連携は
A : 単位数の問題もあり、なかなか進んでいない。